

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	56	事業名	みなみ北海道観光推進協議会負担金		事業の性質別	義務的経費(一部裁量的経費)	区分			
予算事項名	大事項	観光関係団体負担金			中事項	みなみ北海道観光推進協議会負担金		部課名	観光部観光推進課	
事業開始年度	平成 22 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(みなみ北海道観光推進協会規約)					電話番号	21-3499

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 南北海道の観光振興推進の中核機能を担い、あわせて観光事業の健全な発達と振興並びに地域の活性化を図り、もって地域経済の発展に資する。</p> <p>【必要性】 広域的な観光連携を図り、周遊滞在の促進を図る必要がある。</p>
内容	道南18自治体および観光関係団体等が加盟し、その負担金収入をもってホームページやフリーペーパーでの情報発信のほか、スタンプラリーといった周遊促進事業、首都圏等で誘客に向けたプロモーションを実施している。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		960	960	960	960	960	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		960	960	960	960	960	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっても0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.03 225	人工 0.03 217	人工 0.03 219	人工 0.03 219	人工 0.03 225	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	225	217	219	219	225	0
総事業費計(A+B)		1,185	1,177	1,179	1,179	1,185	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
スタンプラリー参加者	人	1,242	1,870	2,013	
ホームページ閲覧数	ビューア	249,064	244,690	279,809	
プロモーション来場者(仙台, さいたま)	人	103,000	128,000	128,000	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指数はない
------	-------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	スタンプラリーによる周遊促進や多くの来場者が訪れるイベントを活用したプロモーションにより、効果的に道南の魅力を発信できた。
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	評価対象外	広域連携という特殊性の高い施策である。	コスト・負担	コストの節減度	評価対象外	決められた団体負担金であり、その負担金収入の中で運営されることとなっている。ただし、効果的な事業が展開されていない場合は、負担額も含めた事業費について協議する。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当			将来コスト増減見込み	評価対象外	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	負担金収入が少ない中、効果的な事業が展開されていると考えるが、新規の周遊促進事業やPR方法についても検討する必要がある。	執行方法	受益者負担の適正度	評価対象外	
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる			外部委託の可能性	評価対象外	函館国際観光コンベンション協会が事務局のため。
評価結果から明らかになった課題事項など		少ない負担金収入の中で効果的な事業が展開されていると思われるが、北海道新幹線の開業も見据えた新たな事業についても十分検討していく必要がある。					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 新たな周遊促進事業について検討する。
	当面現状維持	(経費について) 当面、既存の予算額を範囲とする。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--